

【因果関係と相関関係の違い】

因果関係と相関関係は違います。これはなんとなくわかると思うのですが、言語化するのなかなか難しいものです。相関関係はあたかも因果関係があるかのように、広告や宣伝で使われることも多々あります。

「トップモデルの二人に一人が使用しているシャンプー」
一見、すごい！と、思いがちですが、
因果関係はどう考えてもないですね。この場合、因果関係があるのなら、「このシャンプーを使えば、トップモデルになれる！」が成立します。
もし本当にそうならそのメカニズムを解説すれば「なるほど！」
「だからこのシャンプーを使うとトップモデルになれるんだ！」と最大の広告宣伝になるはずで、それをしないのは因果関係がないからです。

わかりやすい例を挙げると、
「アイスクリームが売れると溺死者が増える」、これが相関関係です。
「アイスが売れる」→「暑いから」→「泳ぐ人が増える」→「溺死者が増える」
こういうメカニズムです。

これは因果関係ではありません。因果関係ならば、アイスの販売を止めれば、溺死者が減ることになります。直接的な原因は「暑い」からであり、気温が下がれば、溺死者は減るはずで、

この考え方は「国語」で応用ができます。

【問 チョコレートもらった時のA君の気持ちを答えなさい。】

気持ちの問題には書き方があり、

原因・理由	+	気持ちを表す言葉
-------	---	----------

これで書き表せます。この場合だと…

原因・理由	+	うれしく思う気持ち
-------	---	-----------

では、「うれしい」の直接的な原因は何か？因果関係を考えるのです。

① 好きな子にチョコをもらってうれしい場合

小学生のころから好きだったBさんにチョコレートもらって
うれしく思う気持ち。

② くれた人はどうでも良く、チョコが大好きな場合

私が大好きな〇〇店のチョコレートもらって
うれしく思う気持ち。



勉強というのは、単に暗記するだけでなく、構造やルールを知ることが大事なのです。